

みんなで仲良く楽しい時間を過ごすために

＝ふれあいいきいきサロンの運営について＝

1. サロンの内容

サロンは、ボランティア（地域住民）と参加者（高齢者）とが共同で運営していきます。

ただし、参加者側の参加意欲がまだ低い初期の段階においては、ボランティア側が活動を引っ張っていくことが必要です。参加者の意見を聞きながらスケジュールを進めていったり、得意な分野については参加者に講師役になってもらうなどして、参加意欲を高めていきましょう。

サロンを円滑に運営するためには、ボランティアの事前準備が必要となります。健康確認・談話・茶話会・健康体操・歌・踊り・レクリエーション・ゲーム・工作・カラオケ・趣味活動など高齢者が気軽に興味を持って参加できる内容を工夫してみましょう。

2. サロンのスケジュールの作り方

<例1>

- ・ 10:00 開会・出欠確認
- ・ 10:10 お知らせ
- ・ 10:20 歌・体操・ゲーム・レクリエーション・おしゃべりなど
- ・ 11:00 お茶のみ
- ・ 11:30 閉会

<例2>

- ・ 13:30 開会・血圧測定
- ・ 14:00 転倒予防体操・輪投げ・スカットボールなど
- ・ 14:30 おしゃべり・お茶のみ
- ・ 15:00 閉会



※ 無理のないスケジュールをつくりましょう。毎回違うプログラムを導入することにこだわりすぎたり、あまり力みすぎると長続きしません。高齢者の方が気軽におしゃべりが出来る雰囲気作りを最優先に考えてください。

3. サロンを運営するための方法

①レクリエーション機材等の貸出

- ・ ビデオ・DVD（懐かしい映画など）
- ・ DVDプレーヤー、VHSビデオプレーヤー、プロジェクター、スクリーン一式
- ・ 紙芝居（昔話）
- ・ ペタンク
- ・ 輪投げ
- ・ スカットボール
- ・ カラオケ機材

②人材の活用

- ・ ボランティア



東根民話の会（昔語りなど）、カンタビーレ（歌）、オカリナ、落語、かかし（民謡・三味線）、ベル友チェリーズ（ハンドベル）など

- ・村山警察署、市生活環境課（交通安全教室・消費者被害講話）
- ・市消防本部（消防防災教室）
- ・東根市地域包括支援センター（介護予防・健康作り・高齢者支援・血圧測定など）
- ・東根市社会福祉協議会（地域福祉・サロンの運営・健康体操など）
- ・県生涯学習センター・香紅の里（体操指導）
- ・企業の地域貢献（ヤクルト健康教室）



4. ユニークな取組みをされているサロン

- ・サロンの歌を作成し、開会時にみんなで合唱している。
- ・休日にサロンを開催して、子ども達とその親（育成会）に参加してもらい、世代間交流を図っている。
- ・福祉バスを使った施設見学（消防署、給食センター、高齢者施設等）を行っている。
- ・地域の大正琴や踊りの団体の発表をサロンで行ってもらい、サロンに地域の様々な人を巻き込んでいる。（地域資源の活用）

5. サロン活動の立ち上げや運営の支援

東根市社会福祉協議会では、地域に出向き、サロンについての説明やお試しサロンを開催するなど、地域みなさんにサロンの理解を深めていただくような取り組みをしています。

さらに、サロンを運営する方に対しては、サロン活動の情報提供、運営のノウハウ、資機材の貸付、講師等の紹介など運営にかかわる相談支援を行います。

また、社協や市の広報紙、東根市地域包括支援センターのホームページ等で地域のサロン活動を紹介しています。

6. サロン活動にかかわる資金の助成（運営補助金）

- ・運営費補助金（年6回の定例会開催が条件）

1回当たりの参加人数 9人以下1,000円 10人～19人1,500円 20人以上2,000円を基準とし、一括して助成します。

（開設後1～3年は上記額 開設後4～5年は上記額の2分の1の支給）

- ・新規開設補助金（新規開設の初年度のみ）

立ち上げ準備費用として、50,000円を限度に補助金を交付します。備品等の購入経費の実費相当額であり、補助金申請書と実績報告書（領収書の写し添付）が必要となります。手続き等については、担当職員が相談いたします。



お問い合わせ先
東根市社会福祉協議会 総務企画係
TEL 0237-41-2361 FAX 0237-42-1350